シルバー
ところざわ
◆発行 社団法人 所沢市シルバー人材センター 1994 No.48 8月号

平成６年度

主要テーマの実現を期して

事業部会長 **伊 藤 政 一**

平成６年度定期総会も盛会裡に終了、新事業年度早々の６月16日、総会決議による「仕事の開拓」と、「会員の就業率向上」の２大施策の達成を期して、決意も新たに事業部会がスタートしました。

（理事５名、地区委員１名、事務局２名）

現在、全国シルバー人材センターは、会員数約30万、会員の就業による契約金額は約1,100億円にも達しており、国庫より支給される補助金の７倍近い金額を働き出していることになります。

この偉大な事業の拡大は、全国都道府県のシルバー団体が「自主、自立、共働、共助」の理念のもとに、暗中模索の中から勝ち得た結果です。私も所沢市シルバー人材センターの会員として、この「シルバーパワー」の偉大な底力に脱帽し、今後の事業部活動に新たな意欲を感じているところです。

顧みれば、数年前までは、当センターもＢランクの位置付けの下に諸活動を行なって参りましたが、Ａランク達成の悲願に向け、役員、地区委員、会員が一丸となって会員増強運動に取り組み、見事Ａランク達成を果たしたことはご記憶に新しいところです。

当センターも他のシルバー団体に比して決して劣らぬ「シルバーパワー」があります。この「健康で働く意欲十分な会員」の方々の100パーセント就業を目指し、その前期計画の主軸として、市内全企業先に対して「未就業会員の推薦紹介活動」を異常な程の猛暑の中、連日展開いたしております。地域社会の実情は意に反し、極めて厳しい状況にありますが、役員、委員一丸となって、所期の目標達成に努めております。

会員の方々のご協力も頂きながら、各企業先に対しても、このシルバー人材センターの理念をご理解頂き、見事この活動が結実することを期する次第です。

広報部会の発足にあたり

理事長　高　橋　義　男

昭和25年の日本人の平均寿命は、男が59歳、女は63歳であったが、平成６年には男76歳、女83歳となって、それぞれ17歳、20歳という著しい伸びを示し、世界一の長寿国といわれている。従って定年の後期間の長期化となり、いわゆる老後設計は大きく変貌を余儀なくされて来たといわねばならない。

東京都にその端緒を発する高齢者事業団、つまり現在のシルバー人材センターの社会的存在意義は年を逐ってその重要性を増して来たと言える。

殊に、バブル崩壊後の長期不況というか経済停滞による雇用不安も、この頃、日銀総裁による「景気回復」という公式見解の表明により、大きな転機を迎えるか否かの期待が持たれる所である。

しかし、さし当たっては高齢者のみならず一般労働力や新規学卒、なかんずく女子学卒の就職難は依然として厳しく深刻な社会的影響を及ぼしている。

所沢市シルバー人材センターは、このような客観状勢の中に、平成６年度総会を契機として、会報の発行体制を一新し、今まで事務局長の孤軍奮闘に委ねていた広報活動を、４人ないし５人の責任編集制に改め、今日の客観情勢に即応する端緒開拓のため頑張ってもらうこととした。紙面もやや拡大刷新して内面のみならず、外に向かって積極的にアピールする機能を発揮してもらいたいし、会員結束のよすがとするためには、従来にも増して会員の発想、発言の場として飛躍を期してもらいたい。

会員相互の親睦、コミュニケーションの場としての機能も併せ持って欲しいと、まァ割りふられた経費、予算に似合わぬ重荷を背負わせる希望を申し述べて祝意を表すると共に激励の言葉とする。

プロを目指して・・・
筆耕教室スタート!!

６月から月２回、第１・第３火曜日の午後、当センター教室で、仕事に結びつく実践的な筆耕教室が始まりました。現在25名の会員が明日のプロを目ざして、宛名書きに真剣に取り組んで勉強をしています。

いま事務局では、就業率のアップを掲げて未就業者の解消を努力目標に、理事長をはじめ各役員が頑張っています。

筆耕の受注を増やして就業を活発にして行くには、技術の向上充実を図ることが会員の戦力アップにも連なります。技術次第ではもっともっと受注を伸ばすことも可能です。

会員の方々が、経験の中に筆耕技術を身につけることにより、自宅で好きな時間に仕事ができる……。これこそ事務系を希望する会員が求めている「よい仕事」としておすすめすることができます。

未就業の会員の皆さん、是非「筆耕」に挑戦してみようではありませんか。

会員の安全就業を願って

会員安全就業推進委員会
委員長 **長 野 瑞 穂**

この度、会員安全就業推進委員会の委員委嘱を受けた４名を代表して、就任のご挨拶を兼ねて皆様にお願い申し上げます。

屋外、屋内を問わず就業中の会員が、不測の事故に遭わぬよう、常に注意を怠らないことが最も大切であることは言うまでもないことです。然し、老境に入るに従って、注意力と神経の反応が鈍るために起こる事故が少なくありません。当センターでは「会員の安全基準」を設けて、就業に伴う事故を未然に防ぎ安全に就業できるように10項目の安全心得（追記参照）を定め、作業に従事するときはこれを守っていただくことになっています。就業の際は都度これを読まれ、理解され完全に自分のものにしていただければ、と願うものです。

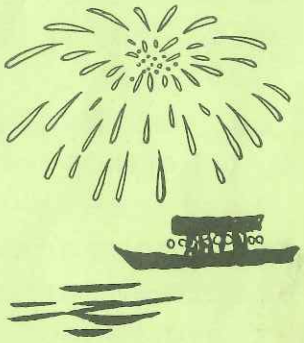
事故には、天災もあれば人災もあります。どんなに注意しても避けられない場合もないではありません。先頃松本市で発生した、真夜中のサリン毒ガス被害などはこれに当たると思います。こんな事故は例外で、大抵の事故はもう少し注意すれば避けられた、と言えるものが多いと思います。

当センターの昨年度中に発生した会員事故は10件で、就業中の転倒、転落事故や交通事故による骨折、打撲、裂傷が６件、このうち屋外清掃中に突然暴漢に襲われたという大変残念な事故も１件含まれています。また、就業先の器具や、ガラス戸に誤って損傷を与えた事故も４件でした。これらはどれも偶発事故で、何ともお気の毒な事故ですが、今年はこの種の事故の発生を未然に防ぐ努力を重ねてみたいと考え、本年９月と来年２月には安全研修を行なうと共に、私共委員が各就業先の現場を訪問して会員各位の就業状況を直接拝見し、安全就業に関する現場の生のご意見を伺って安全対策に反映させ、内容の充実を図りたいと念願いたしております。

会員各位の安全就業確保が、事業運営の基本であると考えております。就業会員の皆様に於かれましては意の在るところをお汲みとりいただいて特段のご協力をお願いいたします。

◇安全就業心得10項目◇

1．作業は安全第一を心掛け、急いだりあわてたりしない。
2．器具類は、使用する前に必ず点検する。
3．服装履物は、作業に合った動き易いものにする。
4．作業前に、軽い柔軟体操をして体をほぐす。
5．加齢による諸機能の低下を十分認識し、無理をしない。
6．作業現場は、常に整理整頓に心掛ける。
7．共同作業は、合図連絡を密にし正確に行なう。
8．仕事の行き帰りの交通事故に気を付ける。
9．健康には常に注意し、健康な状態で就業する。
10．十分睡眠を取り、常に万全な態勢に心掛ける。



《会員ひろば》

◇伝統の和紙作り見学会に参加して◇

中　西　初　子（中央地区）

シルバー「ところざわ」お知らせ欄に、6月28日に和紙作りで有名な小川町を訪ね、伝統の紙漉きを見学する会実施の記事を目にしました。私は以前から紙漉きに興味を持っておりましたので、早速に参加の申し込みをいたしました。

当日、小雨模様でしたが、センター脇から市の福祉バスに乗車、8時30分に出発、所沢インターから関越高速道を東松山インターまでひた走り、最初に東松山市内の県立平和資料館を見学しました。同資料館は満州事変から、大東亜戦争終結までの15年間にわたる忌わしい時代の流れや、戦時中の人々の暮らし、考え方などが歴史的事実に基づいて、その資料と共に展示され、当時を思い起こさせる感慨深いものでした。講堂でアニメ「最後の空襲くまがや」を見て目頭を熱くしました。

同資料館を後にし、約30分で目的地小川町の伝統工芸会館に到着しました。緑滴たる自然美の残る町並みに心和ませながら昼食をとり、あとゆっくりと館内を見学しました。

たまたま小学生の団体が見学に居合わせ、紙漉きの実演を真剣な眼ざしで見入ったり、代わる代わる紙漉きに挑戦している姿を目にしましたが、かなり難かしそうだと感じました。最後に映像展示室で紙漉きの工程と、和人形の出来上がるまでのビデオを見ることができました。その他種々の伝統工芸を眼のあたりにし、その伝統美に心洗われました。

時間の余裕がありましたので嵐山町の県立歴史資料館にも立ち寄り、小糠雨の中、当地が生んだ鎌倉時代の関東武士畠山重忠公の遺跡、菅谷館跡の散策も中々の風情でした。

短い日帰りの見学会でしたが、盛沢山の有意義な、楽しい一日を会員の皆さんと過ごさせて頂きまして本当にありがとうございました。

今は身も心も植木職人の気分!!

新　井　信　好（新所沢地区）

35年余勤めた会社を定年退職し、ホッとした気分でのんびりとした日々を過ごしておりました。然し間もなく、まだ身体にも自信があり仕事をして社会参加したい、と漠然と思っていた矢先、当シルバーセンター先輩の山川さんと知り合い、植木職の話を聞きました。

私は、もともと農家の生まれで、昔を思い出してみると茶刈りで鍛えた腕、高い所へも平気で登れる、又、緑の庭木の手入れなども好きなので、植木職なら絶対やれると決心しました。

今年の2月に当センターに入会、即植木職グループに入れていただきました。そして良き先輩に恵まれ、日々ご指導をいただいております。最初の3、4ケ月は慣れない仕事で身体が大変な時期もありましたが、最近では身体の方も仕事に慣れ、又仕事にも徐々に自信がつき、身も心も植木職人の気分で張りのある毎日を送っております。

シルバーセンターに入会して、本当に良かった、と家族とも喜び合っている今日この頃です。

＜婦人部主催＞

「子供の世話にならない老後」と題して講演会開催さる!!

梅雨はどこへ……。連日30度を超える猛暑の続く７月12日（月）午後１時30分から、旧市役所４階会議室で、市、健康推進課保健婦細江松子先生を講師にお迎えして、「子供の世話にならない老後」と題する婦人部主催の講演会が開催されました。

外へ出るのはイヤ……、と言いたい程の暑さの中、果たして何人位の会員の方が参加してくれるのか？心配顔一杯の主催者。然しそんな心配は無用でした。予想以上の40余名の方の参加に主催者ホッ…。

大野専務の司会、山本婦人部長の開会のことば、高橋理事長の挨拶で開会、そして細江先生の講話に入りました。

細江先生から最初に出たお言葉が「シルバーの方々のお集まりとお聞きしていたので、もっとお年寄りの方々を想像しておりましたところ、皆さん、とんでもなくお若いのでビックリしました」との切り出しに参加者の皆さん「ニッコリ」。婦人の方の集まりと言うと講話中でも結構「ザワザワ」するのを目にしますが、そんな雑音を全く耳にすることもなく、シーンと真剣に聴き入ると言う、内容の充実した有意義な講演会でした。

講演の中で先生が、今後会員の皆さんが日常生活の中で是非実践して欲しい、と望まれた、生活上の習慣10項目と、ボケ防止のための５原則を下記いたします。

参加されなかった会員の方々も、是非参考とされ、「子供の世話にならない老後」のために、美しい老後を目指して頑張りましょう。

◎老後の生活習慣10項目

１．バランスのとれた食事をとる。２．朝食をキチンととる。３．学び続ける姿勢
４．毎日適度な運動をする。５．快い睡眠　６．生き甲斐を持つ。７．好奇心を持つ。
８．人との触れ合いに努める。９．常に社会の変化に目を向ける。10．定期健康診断を必ず受ける。

◎ボケ防止５原則

１．考える。２．書く。３．働らく。４．辛抱する。５．笑う。

短歌

健康で働くことは老い吾の最高の倖感謝して生くる　細谷溪泉子（吾妻地区）

金が有ることが倖とは言い難し無きよりは良く死して使えず

通草かと宵に佇ち見つ垣根越し主に問えば郁子と云ふなり　渕江　江雲（荒幡地区）

なごやかに風が輪をなす盆おどり夜空を飾る打上げ花火

山鳥の声聞きながら寺座敷冬日の中を待ちし碁仇

厳しさも優しさもあり思い出の心に刻む師の逝くを惜しむ

句に短歌還暦を過ぎて学びしに奥の深さを生きて楽しむ

俳句

父の日の父の威厳の遠ざかる　細谷溪泉子（吾妻地区）

梅雨しとしと勝光禅寺の鐘が鳴る

雲雀の巣残し雑草の草刈りぬ

郭公の句碑の深掘り梅雨あがる

吊鐘草ホワイトピンクありと知る

峰伝い園児の声と葱坊主　渕江　梯子（吾妻地区）

春寒し稚魚の黒さの動かざる

つと止り筆すべらして冬木立

禁煙デー風のもたらす栗の花

心太音立つ如く少女の絵

＝会員安全就業推進委員＝

"会員の安全就業を願い激励巡回訪問"

植木剪定作業の松野さん、新井さんと、
長野委員長ほか委員の皆さん

所沢航空記念公園内で清掃業務に就労する
会員皆さんと、委員の皆さん

ビル内清掃作業中の会員皆さんの労を
ねぎらう委員の皆さん

炎天下、植木剪定作業中の松野さん

会員安全就業推進委員会では、連日30度を超える猛暑の続く７月25日（月）、長野委員長以下全委員で炎天下、植木剪定や公園内清掃に、又、蒸しかえす暑さのビル内清掃に、それぞれ汗まみれで頑張る会員皆さんの就業現場を巡回、その労をねぎらうと共に、安全就業10ケ条のチラシを会員皆さんに手渡し、安全就業を喚起激励されました。

◇新入会員の紹介◇

平成６年４月１日から、同６月30日までの間に、次の方々が新しく入会されました。また、６月29日（水）、センター第２教室で、４～５月に入会された方々に、新入会員説明会が行なわれ、20名の方が参加、大野専務、山川次長から就業に当たっての細かい説明がなされ、喜ばれるサービス、安全就業を期することを確認して散会しました。

氏　　名	地　区	氏　　名	地　区	氏　　名	地　区
吉岡　　豊	新所沢	斉藤　君男	松　井	今　　政義	中　央
佐々木正孝	吾　妻	麦倉　　貢	小手指	佐藤　清六	中　央
山田　盛英	中　央	手塚ツタ子	中　央	真中　三郎	小手指
寺田　　賢	三ケ島	澤田　久作	所　沢	小高　虎雄	吾　妻
藤本　澄子	吾　妻	吉澤　輝夫	松　井	松本としゑ	小手指
佐々木邦夫	山　口	土屋　四郎	新所沢	末吉　喜一	所　沢
三村　絹代	松　井	岩瀬　英二	小手指	角野　ひろ	新所沢
大舘　　勇	小手指	伊東　富美	新所沢東	桜井　辰次	吾　妻
一之瀬一吉	三ケ島	根津　光雄	中　央	池田　年雄	松　井
吉田英太郎	吾　妻	逸見　光治	所　沢		
田村　知也	山　口	関　　石松	吾　妻		
新井美知子	新所沢	大井　久雄	柳　瀬		
佐々木和男	中　央	石川　喜一	三ケ島		

平成６年６月30日現在
会員数　７７２名
男　性　５１８名（67.1%）
女　性　２５４名（32.9%）

◇各部会　新陣容でスタート◇

センターでは、平成６年度、なお一層事業の拡充推進と、会員各位の就業率のアップ、安全就業の確保等を図るため、各部会、委員会の部会員、委員の異動が実施され、次の方々がそれぞれ決まりました。

◎事業部会

伊　藤　政　一（山口地区）
兼　松　きのえ（所沢地区）
伊　東　雄　幸（三ケ島地区）
伊　藤　義　雄（中央地区）
牧　野　辰之助（新所沢地区）
秋　山　　修（中央地区）

◎会員安全就業推進委員会

長　野　瑞　穂（小手指地区）
梶　畑　　允（新所沢地区）
名　倉　良　雄（松井地区）
岸　　啓　二（山口地区）

◎広報部会

大　野　敬　司（事務局長）
兼　松　きのえ（所沢地区）
五　社　重　雄（新所沢地区）

ご活躍を期待いたします。

大野専務の説明に聞き入る新会員の皆さん

訃　報

慎んでご冥福をお祈り申し上げます

６年４月～６年７月
（敬称略）

松村　博明（新所沢東地区）
小峰　洋（山口地区）
大隅　章（山口地区）
加藤川　進（小手指地区）
平野　昇（所沢地区）
三上　圭介（小手指地区）
高橋　嘉弥（新所沢地区）
北田　栄吉（山口地区）
清田　政春（三ケ島地区）

◎皆さんの努力結果

月	会員数	受託件数	就業人員		契約金額			
			実人員	延人員	配分金	事務費	その他	計
4	808	274	544	5,290	20,464,915	1,486,478	737,989	22,689,382
5	817	310	622	5,399	22,594,412	1,283,036	715,469	24,592,917
6	772	296	619	5,858	22,710,763	1,389,433	815,241	24,915,437
合計		880		16,547	65,770,090	4,158,947	2,268,699	72,197,736

皆さんのご協力により、3ケ月合計で前年同期より約750万円（11.5%）の増となりました。

《会員安全研修会》

日　時：平成6年9月14日（水）9時30分より

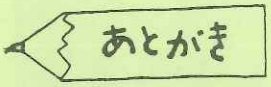
場　所：旧庁舎、402・403会議室

内　容：高齢者の交通事故防止について

※配分金支払い日です。早目にお出掛け、ご参加下さい。

（植木職・除草作業員募集）

センターでは、植木職、除草作業員が不足しています。ご希望の方は至急お申し込み下さい。お待ちしています。



通常なら「梅雨のど真中」の筈の6月下旬から、30度を超える真夏日に見舞われ、そのまま梅雨明けという、昨年とは比較にならない異常な気象。体調の維持が困難な程の今夏ですが、会員の皆様、如何お過ごしでしょうか。無理せず健康第一で、安全就業に努めていただきたいと思います。

この程、広報部会がスタートし、本号が第1号です。幸い、役員、会員の方から多数の投、寄稿が頂け、出来映えはともかく、発刊を果たしまして部会員一同ホッとし、感謝一杯です。

会員皆様のための広報紙です。今後共一層の投、寄稿、ご協力をお願い申し上げます。

また、編集その他についてご意見、ご希望がございましたら、併わせてお寄せ下さい。

（広報部会一同）

豊かな経験を、社会のために